



復刊第108号
題字 吉岡弥生

巻頭言

会長 山崎 倫子

きびしかった暑さも峠を越し朝夕は心地よい涼風が夏の疲れを癒してくれます。

チェルノブイリの原発事故がもたらした大災害も実態がつつぎと明らかになるにつれ、事故の及ぼしたまた今後数十年にわたって及ぼし続けるであろう後遺症に慄然とするこの頃です。

今年には国際平和年。戦後四十一年目の暑い八月を迎え、苦しかったとして惨めだった戦中戦後を思い起こし、今日の自由、平和と豊かさをかりそめのものにしてはならないと強く思ったことでした。

先般来、男女産み分け是非論が問題になっていきます。現実にはすでに相当広く行なわれているとも伝えられています。

また排卵誘発剤によって生じた多

胎児の減数手術が行なわれたという衝撃的な事例も報告されています。今や生まれる前から死後に至るまで、生命操作が可能な時代になってきています。人間にはさまざまな欲望や理由があることは理解できますが、地球より重たいといわれる生命が、いとも簡単に宿されたり消されたりすることをどう考えたらよいのでしょうか。科学技術の進歩は歓迎すべきですが、その応用についてはもっと謙虚に、かつ慎重にと願わずにはいられません。

九月の声を聞くとうすぐ敬老の日です。昭和六十一年の平均寿命は、男七四・八歳、女八〇・六歳、前年度よりそれぞれ〇・三と〇・二八年延びました。

また、老年人口は全国平均一〇・二%（島根県、高知県では一四・八

%）で、今後まだまだ増加を続け、昭和七十五年には一六・二%、昭和九十六年にはピークの二三・五%に達すと推計されています。これは未だかつて世界のどの国も経験したことのない高齢社会、ほぼ四人に一人が六十五歳以上という年齢構造になるのです。こうした事態を予見し、われわれ医師、とくに地域医療を担当する者は、従来の治療 Care から介護 Care、予防 Prevention、健康維持 Health Promotion を含めて、トータルに対応するように変わってゆかなければならないと思います。高齢者の問題に限らず、次の世代を担う子供の健康に関してもさまざまな重要問題が提起されています。われわれに課せられた務めは非常に大きいと思います。

男女雇用機会均等法施行以来、社会の幅広い分野で活躍している素晴らしい女性が多く紹介されるようになりました。女医のアカデミックなポストもどんどん増え、立派な研究や業績が医学雑誌に多く掲載されるのを見ることは大変喜ばしいことです。

女医会会員の中にも、教育、研究、地域医療、行政、福祉等さまざまな分野で活躍している方が多くいます。そして、それぞれの持つ技術、知識や能力を個人で、グループで、あるいは支部で社会に貢献している例も数多くあります。

積極的に青年期の問題について、調査、研究、教育、相談をしている個人やグループ、十数年にわたって

健康相談や難病相談を続けているグループや支部、高齢者や障害者に対して献身的な活動を続けている方々、国際的にも医療奉仕に率先している方等々、私たちには素晴らしい仲間がたくさんいるのです。

女医会としては、先年妊婦の禁煙を目的としたポスターを作成しまし

た。今年は事業部の公衆衛生活動のひとつとして、群馬支部主催で「生活の中の中毒」と題する講演会を会員および一般市民を対象に行ないたいへん喜ばれました。十月には愛知支部主催で二回目が行なわれます。これは支部と本部が連帯して社会に貢献できるひとつの事例であります。

もくじ

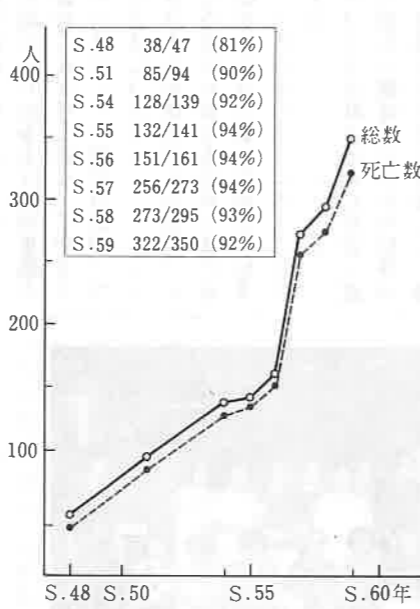
巻頭言	山崎 倫子 (1)
各部だより	
群馬支部総会で講演会開催(事業部)	白橋 美笑 (2)
「生活の中の中毒」(講演要旨)	石津 澄子 (2)
支部だより	
群馬支部総会(群馬支部)	岸 直枝 (4)
福祉見学脱線行(千代田支部)	堤 喜久子 (4)
支部会を開いて(大田支部)	大橋 鎮子 (5)
学術研究助成者の研究経過報告	
ヒト眼筋固有知覚情報の異常眼球運動に及ぼす影響の研究	清水 夏繪 (5)
インスリン受容体機能に関する研究—インスリン受容体リン酸化とインスリン作用の相関について	高山 澄子 (6)
血友病患者の血清中に含まれる細胞膜調節因子の同定	安田 佳織 (6)
サーキュラー・レター No 81	藤井 倚子 (7)
私の大学/徳島大学	武市 早苗 (9)
第十回ニューヨークカウンティ・東京都医師会合同学術会議参加印象記	山上美枝子 (10)
昭和六十年年度日本女医会会員学位取得者一覧表	(11)
第20回国際女医会会議参加のご案内	(3)
第32回日本女医会定時総会のご案内	(3)
理事会議事録	(10)
常任理事会議事録	(12)
会員動静	(12)
編集後記	(12)

表1 急性中毒の原因別発生状況 (S56~58までの2年間) (筑波大学中毒110番資料)

Table with 2 columns: Category (e.g., 農薬, 医薬品, タバコ) and Number of cases. Total cases listed as 3244 for pesticides, 2786 for medicines, etc.

(注)*印は5歳以下の子供に少ない

図1 パラコート中毒の発生数と死亡数 (厚生省統計局資料)



り、これは、一昔前にはみられなかつた新しいタイプのものといえます。ただ、ボタン電池を誤って飲み込んでしまった場合、どんな症状が起るのか? という点、物理的に食道などを閉塞しない限り重篤な状態になることはまれで、黒い便が出るくらい

いさそうです。また、病院や一般家庭でも時々おこることで、体温計の中のコロコロした水銀を飲んでしまったという事故があります。一般に体温計の中に入っているような金属水銀は、飲んででも吸収されませんので心配は

いりません。ただ、小さい粒になって飛び散った水銀をそのままにしておきますと、室温で蒸発しますから水銀蒸気を吸い込むことになり、この場合は危険です。こぼした水銀の「粒」はできるだけ早く掃除機で吸い取ることです。

小児が誤って飲んだ場合、意外に危険なのはライターなどを使うペンジンや灯油で、これは沸点が低いので飲み込む時に肺に入りやすいようです。肺に入りますと、肺胞壁の細胞を傷害しますから肺水腫を起しやすく、肺炎などで死亡する率はかなり高いといわれます。

これ以外にも日常生活の中での中毒事故は少なくありませんが、最近急激に中毒者が増加し、しかも中毒者の九〇パーセント以上が死亡することから大きな社会問題となった、農薬のパラコート中毒について説明してみます。

パラコートという除草剤は、一晩で雑草を枯らすという強烈な作用をもっているため、農家の人たちにとって「草とり」の重労働から解放してくれる有用な薬剤となつて普及したのです。問題は、このパ

第20回国際女医学会会議参加のご案内. 会期 一九八七年4月26日(日)~5月2日(土). 開催地 イタリア・ソレント. テーマ 青年期・医学・心理・社会面. Includes a program schedule table for April 26-30 and May 1.

こうした活動をするには、会員同志はもとより支部間、支部と本部間のコミュニケーションを深めることが大きな刺激になり力になるのではないのでしょうか。総会の機会などに、支部、グループ等の動向や活動を聞いたり、話しあつたりしてコミュニケーションを密にすることを考えた方がいいと思います。いかがなものでしょうか。

五月総会以来、入会者が少しずつ増えてきていることを喜んでおります。会員あつての支部であり、会員あつての女医学会であります。国際会議は三年に一度です。この機会に大勢の方々の参加をお待ちします。

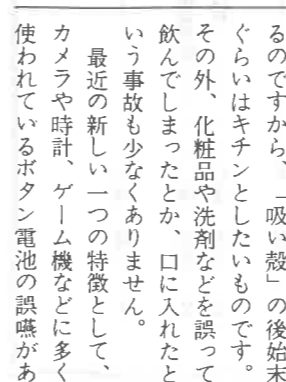
各部だより

群馬支部総会で講演会開催

事業部 白橋 美笑

事業部の仕事の一つとして、「公衆衛生並びに社会福祉への助成」として、年間三十万円の予算が計上され、今年は何とか有効に生かしたいと、事業部では検討してまいりました。

カルセンターでの支部総会で講演会が開催されました。出席者百二十名のうちには二人の男性もおられ、石津先生の平易な言葉での約二時間の講演は深い感銘を与え、講演後の質疑も十名の多数にのほり、会は成功に終わりました。(講演要旨別掲)。



講演要旨 「生活の中の中毒学」 石津 澄子. 私どもの日常生活では、医薬品をはじめとして洗剤とか化粧品、防虫剤、農薬など約六万五千種もの化学物質が使われていて、しかも毎年五百種ぐらいつつ増えているそうです。

ラコートを猛毒であることが有名になり、自殺や他殺の目的に利用する人が増加したということです。

この発生数も驚くべき数値ですが、さらに驚いたことは死亡率が九二・九三%もあるということです。

この凶にみられるように発生数と死亡数がかんなんにも重なっていることが、パラコート中毒の特徴の一つともいえましよう。

パラコートを飲み込んだ場合、どのような症状がおこるのか、またなぜ子供がこんなに悪いのかといますと、これは次のように考えられています。

パラコートを飲み込んだ場合、直後から激しい嘔吐、口の中の粘膜の炎症、潰瘍などで痛みが激しく、患者さんは非常に苦しみます。

この時期をなんとか切り抜けたとしても、やがて肺容量が減少しX線上に斑状の陰影が出現します。そして、数カ月後には肺繊維症のために

ほとんどが死亡してしまつたのです。なぜ肺繊維症が必ず後続するのかといふと、急性期に破壊された肺胞上皮が繊維化してしまうからです。

ラコートを排除することです。以上、「生活の中での中毒」のごく一部のものについてご紹介しました。

東京女子医科大学第二衛生学教室教授の石津澄子先生が講演くださったことになりました。

先生のお話に引き込まれているうちにいつの間にか時間がたつてしまいました。

支部だより

群馬支部総会



群馬支部 岸 直枝

梅雨があけたばかりの七月二十六日、群馬県女医学会の総会が桐生市のメデイカルセンターで開催されました。

本会ではここ数年、年二回ほど思春期の子供を持つ母親を対象に研修会を開催してまいりましたが、今回は乳幼児の事故のうち最近目立ってきた家庭内の事故を取り上げてみました。

福祉見学脱線行

千代田支部 堤 喜久子

最近どこに行っても、私たちの老後の話が出る。千代田支部でも話題にはなつたが展開しなかった。

デンマークの年金者専用アパートを十二年前に訪れたら、幼稚園が附属となり、自殺者が減つたという。

北欧の福祉に今さら言及するまでもないが、高負担の上での高福祉である。

て面倒見よし、となると、この国の人たちが給料の半分納税しても、週末を別荘(小屋程度だが)でゆっくり過ごせる。いささか羨しい生活ではないだろうか。

人頼みの福祉を考える前に、個人の自覚を若いうちから持たねば、老後を論ずる資格もないと反省しつつ、振り切りたい私事もあって、私は北極へ飛んだ。

世界最北端のトロムセ総合大学は学生の意志が、画家によって壁面に表現されていて印象的であった。

院生の案内で、大西洋の見える入江に、氷河を背にして立ったとき、不思議な世界に迷い込んだ気分になった。

午後十時頃、西の空に赫々と太陽が落ちて来て、水平線を東に滑って移動する。波音もせず、風も静かですべてが停止した中を、太陽だけが刻々と動いている。もしかしたら、コペルニクスの説は間違いで、天動説が正しいのではないだろうか。

老後も福祉もすでに念頭になく、大自然の中の点描にすぎぬ私は、不思議な光景を見はうけて坐り込んでしまった。

支部会を開いて

大田支部 大橋 鎮子

昭和三十年、日本女医学会が戦後再建され、大田支部も中川富士先生はじめ、諸先輩先生方によりずつと運営されてまいりました。

奥の陽が、湖面にクリスタルを砕いて流すように耀く光を投げた。その感動と重なって、たとえ氷河に閉じ込められようと、帰りたいくない私は、独り山羊の鈴の鳴るのを聞いて呆然としていた。

ヒト眼筋固有知覚情報の異常眼球運動に及ぼす影響

自治医科大学神経内科 清水 夏繪

saccadic eye movement の測定異常のうち、hypometria はパーキンソン病、視野欠損、大脳障害、加齢などでも見られるが、hypemetria は小脳障害に特徴的である。

よって作られ、小脳によって修飾される。すなわち、小脳虫部の背側部にsaccadeに強く関係する部位が存在し、眼筋からの固有知覚情報や視覚情報がこの部位に投射している。

学術研究助成研究経過報告

関係し、saccade直前の眼位が外側のほど、saccade終了後の眼位が正中に近いほどhypemetriaは大きい(Richie 一九七六)。

nometerにより動かしてsaccadeを誘発した。この方法では、指標の出現位置はある程度予測できるが、いつ出現するかは予測できない。

眼球運動はDC-EOGで記録し、指標は赤色円形の投影光でgalva-

各条件で八一九十七(平均三十五個)のsaccadeを分析した。一回のsaccadeで指標の位置に眼球が達しな5時、dysmetriaと定義し、hypemetria、hypometriaのおこつた

頻度と指標の位置を越えた分(overshoot)と不足分(undershoot)の大きさを測定した。

その結果、(1)種々の眼位からは、まる20の正中位に向かう saccade (concentric saccade)、外側に向かう saccade (eccentric saccade) とも overshoot / undershoot の頻度、大きさをともに、saccade 直前の眼位 saccade 終了後の眼位に関係なかった。concentric saccade では hypermetria が、eccentric saccade では hypometria が、overshoot / undershoot の振幅の方が overshoot より大きかった。(2)眼位20からの concentric saccade と eccentric saccade とを比較すると、前者では hypermetria が、後者では hypometria が、後者では overshoot / undershoot の振幅は両者で差はなかった。(3)正中を越えて対称的に指標を動かす時は、指標の振幅が大きくなるほど hypermetria が、おこりやすく、overshoot / undershoot の大きさも増大した。

これらの結果は、ヒトの小脳障害では、指標の動きの大きさと方向が saccade の正確度に関係するが、眼位は無関係であることを示し、小脳虫部背側部を破壊したサルや(Bitcher 一九七六)、室頂核を冷却したサル(Tillis 一九八一)で眼位が hypermetria に関係するのと異なる結果であった。ヒトで concentric saccade の方が hypermetria となりやすいとの報告もあり(Cogan 一九五四)。

そのちがいは今回の検査法に多少予測性が関与したこと、病変の拡がり期間が異なるためと思われる。サ

インスリン受容体の機能に関する研究 ——インスリン受容体のリン酸化とインスリン作用の相関について——

東京女子医大糖尿病センター 高山 澄子

インスリンの作用は、インスリンが標的細胞のインスリン受容体に結合することより始まる。インスリン受容体はαとβの二つの Sub-Unit 構造を有する四量体で、α subunit はインスリンの結合部位を有し、また、β subunit は tyrosine kinase として働くことが知られている。すなわち、インスリン受容体にインスリンが結合すると β subunit の tyrosine 残基が kinase の働きによってリン酸化され、この現象はインスリン作用発現のための一階階として重要であると考えられている。また、インスリン受容体はインスリン刺激を受けやすい平常状態において、すでに serine、threonine 残基がリン酸化を受けていることが知られており、これはインスリン受容体と、細胞内あるいは細胞膜に含まれる他の kinase との相関の可能性を示すものである。今回は特に、serine、threonine kinase の一つとして知られている protein kinase C とインスリン受容体の相関につき検討した。方法と

ルに比してヒトでは眼筋固有知覚情報よりは視覚情報 saccade により関与する可能性が示唆された。

してはラット肝癌培養細胞を使用し protein kinase C の活性化剤として知られている phallo ester (以下 TPA と略) を三七度Cにて作用させた後、インスリン受容体を wheat germ agglutinin を用い精製した。またそれと並行して TPA 刺激を受けていない細胞よりインスリン受容体を精製、対照とし、両サンプルにつき SDS ゲル電気泳動法による受容体の Autophosphorylation および histone H2B を用いて tyrosine kinase の活性度を比較した。加えて、活性化された protein kinase C を介して刺激されるインスリン受容体の serine phosphorylation を Alkaline phosphatase を用いて脱リン酸化し、受容体の Autophosphorylation また、tyrosine kinase の活性度に対する影響をみた。

血友病患者の血清中に含まれる細胞膜調節因子の同定

久留米大学附属病院内科 安田 佳織

1 緒言 血友病患者は、後天性免疫不全症候群(AIDS)のハイリスクグループの一つであるが、その理由は、AIDS の病原体である human T lymphotropic virus type-III (HTLV-III) が抗血友病製剤を介して伝播するためと考えられている。しかしながら HTLV-III に感染していない血友病患者についての研究でも、AIDS 類似のリンパ球サブセットの変化すなわち、ヘルパーT(Th)細胞の減少、サブレッサーT(Ts)細胞の増加、Th/Ts 比の低下および活性化T細胞の増加といった現象が認められることが

泳動法により得られたリン酸化後のインスリン受容体の peptide mapping を HPLC により検討したところ、両サンプルは同様のパターンを示し、TPA 刺激後の細胞より精製したインスリン受容体はコントロールに比べ、全体的にピークの減高を示した。また、TPA 刺激後精製のインスリン受容体に Alkaline phosphatase による脱リン酸化を行なった場合、インスリン受容体の Autophosphorylation および tyrosine kinase 活性は

報告されている。われわれは、こうしたリンパ球サブセットの変化が、いかなる条件下で生じ、また、AIDS 患者と同様の病的意味を持つかどうか検討した。

2 対象および方法

Th/Ts 比の低下した血友病患者八例を対象とし、年齢、性別の一致した健康人と比較した。末梢血から Ficoll-Hypaque 比重遠沈法でリンパ球を分離し、2×10⁶個/ml となるよう 10% FCS・RPMI-1640 培養液に浮遊し、三七度C、九十六時間培養した。またレクタン(ConA)を加えた系についても同様に培養し

表1 培養前後の Th 抗原の変化

	% positive		
	KOLT-1	Leu3a	OKT4
Hemophiliacs (n=7)			
Before culture	16.2± 5.0*	17.9± 4.8	8.4± 2.0
Culture without ConA	37.3± 8.0	32.3± 7.7	35.9± 7.9
Culture with ConA	55.8±11.8	53.4±12.0	56.6± 9.8
Controls (n=7)			
Before culture	33.3± 3.2	32.3± 5.6	33.4± 3.3
Culture without ConA	33.2± 5.1	32.2± 5.8	31.4± 1.9
Culture with ConA	42.4± 5.0	48.8± 4.9	46.4± 3.3

*Mean±SD.

表2 培養前後の活性化T細胞膜抗原の変化

	% positive			
	OKT10	OKIa1	anti-Tac	KOLT-2
Hemophiliacs (n=7)				
Before culture	24.4± 9.9*	34.9± 6.6	1.0± 0.9	5.8± 1.9
Culture without ConA	13.2± 6.8	9.9± 6.1	3.3± 0.8	13.7± 4.4
Culture with ConA	59.4±18.8	33.0±16.0	66.3±14.0	64.9±20.8
Controls (n=7)				
Before culture	11.8± 5.5	18.8± 4.9	0.8± 1.1	7.4± 4.4
Culture without ConA	7.4± 6.4	9.2± 4.9	3.9± 1.8	9.4± 6.0
Culture with ConA	25.5± 9.9	24.4±14.3	46.4±11.0	40.0±11.0

*Mean±SD.

た。培養前後のリンパ球をモノクローナル抗体(OKT4, OKT8, OKT10, OKT11, OKIa1, Leu3a, Coulter B1, KOLT-1, KOLT-2 および anti-Tac)と反応させ、各抗体の陽性率をレーザーフローサイトメトリーを用いて測定した。

3 結果(表1, 2)

培養によって八例中七例に類似の膜抗原の変動パターンが認められた。すなわち、健康人では培養前後で各陽性率に差がなかったのに対し、血友病患者では培養前コントロールより低値であったTh細胞膜抗原(OKT4, Leu3a, KOLT-1)が有意に増加し、逆に高値であった活性化T細胞膜抗原(OKT10, OKIa1)の陽性率が減少した。八例中一例は培養前後で膜抗原の陽性率に変化が認められず、この例のみがHTLV-III抗体陽性者であった。血友病患者のリンパ球

4 考察

血友病患者のリンパ球は、レクタン刺激に対する反応性の低下した AIDS 患者のリンパ球と異なり、刺激に対して正常もしくはより、Sensitive に反応することが予想された。さらにTh細胞数の減少している患者でも、患者血清からTseeの状態で培養することによってTh細胞が出現してくることから、未だHTLV-IIIに感染していない血友病患者のTh/Ts比の低下は、AIDS患者に見られるような真の免疫能の低下すなわちTh細胞数の減少ではなく、無数のTsee抗原物質の浸入(抗血友病製剤投与による)に対し、Th細胞膜抗原が modulate された状態であると考えられた。

Circular Letter No. 81 サーキユラー・レターNo.81

国際連絡書記 藤井 儔子

執行部秘書の交代

ヘルガ・ヘーブルさんが本年七月一日付をもって退職する。これは四月の運営委員会で彼女から申し出があったことである。後継者はテレサ・ヘーブルさん——同姓の方である。七月一日から着任する。執行部の意見によりスペイン語もできる者を選考した。今後スペイン語を母国語とするメンバーとの交流もいっそう密になるであろう。

MWIA本部の住所変更

MWIA
Herbert-Lewin-Strasse 1
D-5000 Cologne 41
Federal Republic of Germany
Tel. 221-4004 235

役員交代と住所変更

数名の役員変更に伴いMWIAの便箋等は新しく印刷中である。従来のは使用しないこと。

第20回MWIA会議に関する

イタリア・ソレント、一九八七年四月二十六日—五月二日開催。プログラム予告、登録用紙は各国

の国際連絡書記宛送す。

*四月二十六日(日)

・十四時—十六時：国際連絡書記(NCS)報告会

会議に先だつて持たれるため旅行プランに注意、従来、NCSと本部との連絡が理想的には行なえなかったのをカバーする目的を有する。NCSが出席できない場合は代理の出席を、また、この会合には各国会長の出席を希望する。

・十六時—十七時三十分：評議員会
各国はこの会議に出席する評議員を本年末までに選出し名前を本部へ知らせしてほしい。
(MWIAの現況、規約等について討議される予定)。
・十七時三十分—十八時三十分：座長、副座長、学術セッション関係者の報告会。

この会はソレント会議のための決議委員会委員長兼運営アドバイザーであるC・ウィリアムさんが運営する予定。会議中にもたれるワークショップはアイディアの交換、討論を目的とするものであるが、討論を重ねた結果多数の参加者が興味を示し、非常に重要と認める

事柄がみい出せない場合には決議事項を決定する必要はない。...

*四月二十七日(月)
十三時: NCS昼食会
十六時三十分: 第一回総会開催...

役員選挙の件
各国から提出された役員立候補者は左記の通り。

- President-elect:
Dr. Choo, Korea
Dr. Stray-Pedersen, Norway
Dr. Ward, U.K.
Dr. Yamazaki, Japan
Honorary Treasurer:
Dr. Krosner, U.S.A.
Honorary Secretary:
Dr. Motzel, F.R.G.
Vice-President for Northern Europe:
Dr. McWeney, Ireland
Vice-President for Central Europe:
Dr. Lotzsch, Austria
Vice-President for Southern Europe:
Prof. Perol, France
Vice-President for North America:
Dr. Ross, Canada
Vice-President for Ibero America:
Dr. Vera Alma, Peru
Vice-President for Near East and Africa:
Dr. Mangyu, Kenya
Dr. Sanders, South Africa
Vice-President for Central Asia:
Dr. Patel, India
Vice-President for the Western Pacific:
Dr. Kuan, Taiwan
Dr. Santos, Philippines
Dr. Scrivenor, Australia

入会希望者
次の方々が総会において個人会員として推薦されるであろう(各人の履歴書はソレント事務所で見ることが可能)。

- Dr. Zuhai Amato (イタリア)
Dr. Bitha Chenoufi-Bahri (チュニジア)
Dr. Jane Kavuma-Kagonga (ウガンダ)

決議事項について
総会において(三)の事項が討議される予定である(後述)。役員選挙入会申請、決議事項の件については各国女医学会内で十分に討議し、国際女医学会総会に出席する評議員、代議

員が皆の意見を反映できるようにすることが望ましい。
M W I A 恒例の安売りと抽選会
M W I A の募金として各国からの特色ある物を売物として持参したければ幸いである。

M W I A 会議出席に対する経済援助
Lovejoy-Jubilee Fellowship
から四名に対し各人千スイスフランを援助できる。...

第二十二回国際女医学会(一九九一)
開催地の候補を募集、利子なしローン制度がある。

委員会ニュース
四月の委員会で、N W I A 執行部は副会長、前会長、次期会長に対しソレントにおける実行委員会出席の旅費の半額をM W I A が持つことを決定した(会長の旅費はすでにM W I A より支給されている)。

これはM W I A の運営に関連する出費を払い戻すという注目すべき決定である。
Dr. ハスレンはWHO指導下で行なわれているこの国の予防接種プログラムにM W I A も関与している点を視察中である。

Dr. ウォーズはM W I A 振興宣伝にかかわる物をお返し、小冊子の最新版を出す仕事をしている。
先を知ることを希望している。

喜ばしいこととしてWHOがM W I A との関係より密にすることになった点をあげたい。
Dr. ウォーズは、このくわしい配布先を知ることを希望している。

有利益にするためには総会前に適当な時間を置いて開催し、総会で討論、決議を行なうための十分な時間をもうけるべきである。
これはアメリカ医師会が一九八五年五月フランス・タロアで開かれた百十一回カンシルセッションおよび一九八五年ベルギー・ブラッセルにおける三十七回世界医師会に提出したものである。

者、農村あるいは高齢者等に対する医療補助、カウンセリング、医師になる計画と実行に対する貴女の考えと働きかけ、学会活動(どのようなトピック)参加有無、会としての政府機関への協力有無、立法にも関与する地位にある会員存在、受賞者...等

その他
A M W I A の北ヨーロッパ支部の第九回国際会議が一九八八年六月二十三(二十五)日に開催される。
連絡先:
Helen McDermott
Irish Medical Organization
10 Fitz William Place
Dublin 2, Ireland

B 汎アメリカ女医同盟の会議が一九八七年十一月二十七日(十一月一日)に開催される。
連絡先:
Dr. Juana de Ruiz
S.O.M.E.P.A.
Box 6-9414
El Dorado, Panama

「女医の雇用問題および、雇用条件と職場の状況について」
ジュネーブの国際労働機関が世界各国における女医の雇用条件等に

関する情報入手に関心を持って... 貴女方からの情報に基づいて政府機関の働きをうながす際の土台作りのため調査が行なわれるであろう。

私の大学

徳島大学医学部法医学教室 武市 早苗

唯一の医学部を有する大学として古い歴史を誇っていたという背景があり、現在一県一医学部(医科大学)の時代になって、なお医学の教育、研究、診療の中心的存在たるべく日夜努力致している次第です。

昭和十八年県立医学専門学校として発足、二十三年に徳島医科大学となり、二十四年に現在の徳島大学医学部となり、三十年大学院博士過程設置、三十六年には時代の最先端をいく酵素学を正式名とした「酵素研究施設」が設置され、加うるに二十九年医学部に栄養学が設置された。「酵素研」は酵素化学、酵素病理など四部門の講座からなり、その名前からして誠にユニークである。...

評価が高く、本年「酵素科学研究施設」として全国共同利用の教育・研究所として文部省の認可が先日よりたところと聞く。わが国の医学が治療医学に片寄り過ぎていたとの反省の上になら作られた栄養学は、主として人体栄養学についての高度の教育、研究を目的とし、多くの栄養学士、保健学博士を全国の大学、研究所に送り出している。...

ケースでも知っている事を本部に報告してほしい(可能であれば切抜き等)。
Dr. C. モツツェル(名誉秘書)
付・国際女医学会会議における決議事項(案)

付属病院診療科の方には脳外科、麻酔科、心臓外科等の増設が続き現在十七科となり、中央診療部としては検査部、放射線部、視能訓練部、難聴診療部、救急部、輸血部など十部が整えられていった。...

一、オーストラリア女医会提案
M W I A 実行委員がM W I A 関連の会議出席の旅費は会費で賄うべきであり、必要なら会費の値上げをすべきである。
二、オーストラリア女医会提案
M W I A 規約第四条、細則第六条にもとづくカウンスルの会合をよ

営に参与している職員は教官もふくめ九百七十六名、病床数は六百七十七床、入院患者延数は一年二十万八千五百二十八名、一日平均五百七十一名、外来患者延数は一年二十万五千五百三十七名、一日平均六百九十六名である。年間予算七十億円で運営されており、うち診療による収入は五十七億円で(昭和六十一年五月一日現在)。また、全国にさきかけて医学部に倫理委員会が設けられ、現在八人目の体外受精に成功していることは広く知られているところである。

り有益にするためには総会前に適当な時間を置いて開催し、総会で討論、決議を行なうための十分な時間をもうけるべきである。
三、世界医師会から送られた案
これはアメリカ医師会が一九八五年五月フランス・タロアで開かれた百十一回カンシルセッションおよび一九八五年ベルギー・ブラッセルにおける三十七回世界医師会に提出したものである。

長期計画として障害者が一層参加しやすくするため次の十項を含む国際プログラムがセットされた。
(1) 障害者が社会的、教養、宗教、レクリエーションあるいは地域活動および決議を行なう場への参加を増やす。
(2) 教育、訓練、仕事をもつことを広げる。
(3) あらゆる障壁を除く——たとえば建物、交通、交流、法的な面で——
(4) 社会的交流や教育プログラムを通じて障害者の受け入れを増や

す。
(5) 障害の原因となる病気や社会環境の改善——予防接種、環境改善、職場その他の健康管理。
(6) 障害の原因となる家庭、職場、路上における事故防止。
(7) 障害者の聴力、視力、運動能力、会話能力の回復へ努力。
(8) 障害者に対しその家族ぐるみで参加しうる地域単位のリハビリテーションサービスならびに自立のプログラムを広げる。
(9) 生体医学研究を一層広範にし、しかも有意義な応用を通して障害をひき起こす主たる条件を除き、その状態から救出する。
(10) 障害者も非障害者も、若きも老いた人も、富める人も貧しい人も、男も女も、教養ある人も使徒も一丸となって障害を防ぐ努力をする。その目的のため各人の持つ能力を十分發揮すること。

国際医師会は国連の「障害者の十年」に参画することを決議しよう。
具体的手段として、医師や一般社会人が障害者の要望や能力に関する知識を持つための教育プログラムに、全医師および医療関係者が参加するよう勇気づける。
女医会もまた、各国女医会ならびに関心を持つ他の団体に情報を提供し、以上十項のプログラムを履行するための計画を育てる方向に動くよう決議したいものである。

昭和60年度 日本女医学会会員学位取得者一覧表 (学術部) 61. 9. 27

Table with columns: 支部, 氏名, 出身校, 卒年, 論文名. Lists members and their research topics.

全国医科大学78校に調査依頼し60校より回答あり、結果 185名の学位取得者中 11名の女医学会員があり、会員外の174名に入会のお誘いをし、10名の入会あり。

アンケート調査依頼を検討して... (国際女医学会) 藤井国際連絡書記... 第二回国際女医学会会議について... 登録費... 九月三十日まで 六十万リラ... 十二月三十一日まで 六十四万五千リラ... 十二月三十一日以降 六十九万リラ... 登録費および旅費は直接取り扱い旅行社の日本交通公社か阪急交通社へ支払う。... 四十歳以下の若い女医の公開討論会が計画されているので、ぜひ参加されたい(登録費半額、滞在費無料)。

【第10回】 ニューヨークカウンティ・東京都医師会 合同学術会議参加印象記

江戸川支部 山上美枝子

私は昭和六十一年五月十五日ニューヨークにおける合同会議に出席のため主人とともに渡米。会期は五月十六日から四日間。本会議の主催はニューヨークカウンティ医師会。開催の目的に、東京都医師会とニューヨーク医師会とによる近代医学の推進交流と両医師会員の親善友好のためと記されているように、医学学術会議は五月十七日のみである。十六日は市内観光と登録、会場であるプラザホテルのプレナリーセッションで、ニューヨーク在住のドクター・ワシオ夫人が東京代表団の夫人方を招待、市内観光にも案内された。十八日、全米所得第一と評判の山谷医師の豪邸に招待、広大な庭でのパーティに目をみはるばかりであった。十九日、しめくくりの年次総会の後、フォーマル・ディナーパーティーがあり、「蛍の光」におくられ、第十回の本会は盛會裡に終了した。この後、少時の旅行を楽しみ、無事帰国した。

理事会議事録

日時 昭和61年6月28日 場所 日本女医学会議室 出席者(敬称略) 山崎、小俣、久保田、佐藤、明石、石原、佐野、白橋、野沢、橋本、福永、藤井、丸山、三好、八木、石川、石津、稲生、井上、鶴川、川口、小出、関口、南雲、野中、藤田、山本、添田、西山 欠席者(敬称略) 平瀬、大原、小暮、二村、野本、野呂、橋川、山口 庶務報告 野沢常任理事 4月25日 日本女医学会誌発送 役員有志にてモラニ先生歓迎会開催 国連NGO国内委員会へ野本理事出席 理事会および年金委員会開催 4月26日 厚生省病院管理研究所所員と山崎会長談話 5月12日 昭和六十年年度会務報告、ルーベングンパレット、会費請求書発送 5月19日 国連NGO国内委員会へ佐野常任理事出席 定時評議員会および第三十一回定時総会開催 5月25日 広島支部会へ山崎会長出席 6月14日 山梨支部会へ山崎会長出席 6月22日 山梨支部会へ山崎会長出席 長出席 その他 (1)日本女医学会東京都支部連合会より日本女医学会総会開催に際し補助金のお礼と盛會裡に終了した挨拶あり。 (2)東邦大学医学部東邦会より役員一同の挨拶あり。 (3)当会総会の際、会員より募金した六八、三五一円を難民を助ける会へ寄付する。 (4)三神名誉会長より五十万円の寄付金と書簡あり。 (5)荒川あや先生より荻野吟子賞受賞の礼状あり。 (6)金井美津先生より総会時に出版物販売に対し五千円の礼金あり。 連絡事項 一、市川房枝記念会より「市川房枝基金」援助希望者のご案内あり。 援助課題 婦人の地位向上、政治の浄化、国際協力などのための個人および団体の研究調査、活動、社会に役立つものであること。 二、日中国際婦人の集いより「第三回日中国際婦人の集い」参加のご案内あり。 期間 昭和六十二年三月一日から七日まで。 費用 二八五、〇〇〇円 三、労働省より第一回男女雇用機会均等月間実施要項について。 期間 昭和六十一年六月一日から三十日までの一カ月 四、日中国際協会より昭和六十一年度助成金に関するお知らせについて。 助成金 総額五十万円(一名につき二十五万円) 五、エイボン女性文化センターより一九八六年エイボン女性年度賞候補者推薦の依頼あり。 六、医療情報電送センターより駿河台俱樂部松本館オープン記念特別ご案内あり。 七、日本ユニセフ協会よりカードの注文案内あり。 会計報告 石川理事 四月分、五月分別紙どおり報告 承認 各部報告 佐野常任理事 (渉外部) モラニ先生より先日来日した際の礼状あり。 (広報部) 八木常任理事 会誌百六号を発送、次号は七月末発送の予定。 (事業部) 白橋常任理事 ・「女医の実態および意識調査」のアンケートの返事が、現在五、四〇七通集まっています。 ・「生活の中の中毒学」講演については七月二十六日群馬支部と十月五日愛知支部を予定しています。 各支部への出張の場合は、旅費および宿泊費を一般会計より支出する。 橋本常任理事 (学術部)

(3) 台東支部長欠員について

佐藤はつ先生に支部長の選出を願う書簡を出す。

(4) 前進座観劇会について

観劇会はしない。

(5) 来年の大阪総会について

日時 昭和六十二年五月二十四日(日)

場所 未定

日程 五月二十三日(土)

観光

五月二十四日(日)

評議員会/午前十一時

総会/午後一時~三時

講演会その他

懇親会/午後五時~六時三十分

(6) 定款および細則改正について

理事が評議員を兼ねる件、会員の章、役員数などについて今後検討する箇所がある場合は、山崎会長または事務局へ申し出る

こと。

(7) 事務職員夏期ボーナスの件

二・三カ月分支給する。

(8) 事務職員夏期休暇について

五日間とする。

以上

副会長(庶務担当) 久保田

庶務部 明石、野沢、三好

常任理事会議事録

日時 昭和61年7月26日

場所 日本女医学会 会議室

出席者(敬称略)

山崎、久保田、佐藤、明石、石原、

佐野、野沢、橋本、平瀬、福永、

三好、八木

欠席者

小俣、白橋、藤井、丸山

六月理事会議事録に対し山崎会長より訂正あり。

三神先生は名誉会長になられ、今後理事会に出席されないため欠席者から名前を除く。

庶務報告 明石常任理事

6月28日 理事会開催

6月30日 厚生省へ昭和六十年

度会務報告および事業報告、会計監査報告、定時総会議事録

昭和六十一年度事業計画案を提出

その他

(1) 故北沢あさを先生ご遺族より供養の品あり

連絡事項

一、(財)日本女子社会教育会より「婦人教育研究集会」の開催案内あり

期日 昭和六十一年九月二日~三日(火~水)

会場 日本女子会館

趣旨 「国連婦人の十年」の成果を踏まえながら、二〇〇〇年に向けての研究協議

会計報告 福永常任理事

六月分別紙どおり報告。

各部報告

(学術部) 橋本常任理事

アンケート調査内容を検討作成し、

会員に研修会の通知と一緒に発送

する。

(事業部) 石原常任理事

本日群馬支部へ石津先生の「生活の中の中毒学」の講演のため白橋、石津両先生が出張。

(広報部) 八木常任理事

日本女医学会誌百七号を昨日発送す、次回原稿締め切りは九月十日ごろ、各部からの寄稿を願う。

(渉外部) 佐野常任理事

七月十四日、国際婦人年連絡会全体会に出席。

(国際関係) W H Oより児玉浩子会員(栃木支部)を特別顧問委員に推薦するために問合せあり。

(議 事)

一、田中寿子会員より(神奈川県支部)東京慈恵会医科大学の女医を対象として実態調査をしたいので、当会のアンケート内容を参考にしたいとの依頼について

アンケート内容を差し上げることができないが、当会の報告書ができるまで発表を控えるよう願う。

二、難民を助ける会より会費納入依頼について

団体会員としては納入しない。

以上

副会長(庶務担当) 久保田

庶務部 明石、野沢、三好

会員動静

評議員(敬称略)

台東支部 佐藤はつ

大阪6支部 富樫澄子

入会会員(敬称略)

岩手支部 加藤文子

新宿支部 岩崎直子

都下西支部 サマーヴィル妙子

神奈川支部 加久晶子

山梨支部 井出さき子 上野美代

愛知支部 小沢みや子 千葉敬子

新潟支部 加藤瑠璃子 早川ア井

新潟支部 万歳登茂子

大阪6支部 松原英子

大阪7支部 久保玲子

大阪7支部 保坂智子

米田あや子

兵庫支部 神沢光江 三谷喜枝

横山和佐子

鳥取支部 湯村純子

山口支部 村野慈子

佐賀支部 山領道子

鹿児島支部 川原ユキエ

物故者会員(敬称略)

群馬支部 水谷達子

文京支部 北沢あさを

都下東支部 小原ツル子

神奈川支部 秋山静枝

静岡支部 小沢虹子 三宅隆

大阪6支部 中野真美

兵庫支部 日野つや

集記 編後



医療分野の驚くべき進歩、そして医療体制の抜本的改革、また教育分野においても今大きな未来が開かれようとしています。一歩外へ出れば国鉄の民営化や、税制の見直し等々等々しい中にも二十一世紀に向かって大きな希望にふくらむ昨今です。その中で日本女医学会もまた、十年一日であってはならぬと新会長の下で一年半を経た今、新風は吹きまくり一歩一歩と着実に明日の日本女医学会は築かれています。理事会では各人の意見に傾聴される会長の下で活発な意見が交錯し、事業部においては支部の会に参加して講演会を開催、渉外部では内外とにも各種組織との接渉に多忙を極めておられます。そんなニュースを会員にご案内するだけでなく、広く皆様方からご投稿を願って会員同志の親睦を計るのも会誌のもつ任務の一部かと考えます。今回ご多忙の中を快くご寄稿頂きました先生方に厚く御礼申し上げます。(八木)

昭和61年10月20日 印刷
昭和61年10月25日 発行
編集人 八木貞子
発行人 日本女医学会
発行所 東京都渋谷区渋谷2-8-7 青山宮野ビル
社団法人 日本女医学会
TEL (498) 〇五七一
TEL (815) 六四一五
制作 東京都文京区水道1-5-16 (815) 六四一五
株式会社 金剛出版